

令和 3 年度公立幼稚園の入園申込を踏まえた今後の対応について

1 これまでの経緯

(1) 公立幼稚園の再編基準

- 平成 30 年 8 月の市社会福祉審議会児童福祉専門分科会からの提言『いわき市教育・保育施設（公立）の整備のあり方』に基づき、同年 9 月に策定した実施方針において、公立幼稚園は、「段階的に集約化を図ることを基本的な方向性とする」一方、「段階的集約化の過程において、基幹的な幼稚園を 1 地区 1 園程度、当分の間、公立で継続させていく」こと、及び各年 5 月 1 日現在の幼稚園在園児童数を基準とする具体的な再編基準等を定めた。

○ 実施方針における再編基準

基 準	(H31 募集起点の場合)
ア 2 年連続 10 人以下 (早期に再編)	⇒H33 年度までの早い時期に再編
イ 2 年連続 19 人以下 (3 年までに再編)	⇒H33 年度までに再編 (H31 年度入園児の卒園までは運営)
ウ 2 年連続定員の 50%未満 (再編対象園の明示) 単年度で 10 人以下の場合でも 状況に応じ再編を考慮	⇒再編対象園として明示 再編時期は特に定めないが、幼児教育無償化の状況により、ア・イとなった場合、それに準ずる。

(2) 再編の経過

公立幼稚園は、これまで、在園児童数の減少や地域における保育需要の動向等を踏まえ、再編を行っている。

年 月	幼稚園名	幼稚園数
平成 30 年 3 月	内町幼稚園廃止	18→17
〃 31 年 3 月	湯本第二幼稚園廃止	17→16
令和 2 年 3 月	四倉第三幼稚園廃止	16→15
〃 3 年 3 月	錦幼稚園、四倉第四幼稚園廃止	15→13

(3) 公立幼稚園の児童数の推移

児童数は減少傾向にあったが、とりわけ幼児教育・保育の無償化が開始された令和2年度は大きく減少している。

○ 公立幼稚園の児童数の状況（各年度5月1日現在）

年度	H23	H29	H30	H31	R 2	R 3 [※]	H23-R 3 [※]	
							増減数	増減率
児童数	963	660	624	621	528	450	▲513	▲53.2
前年度との増減	-	-	▲36	▲3	▲93	▲78	-	-

※ R 3の数値は12月1日時点の見込値。

2 再編対象園

次の5園については、入園募集の際に、「再編対象園」であり、令和4年度以降は新たな募集を見送ることがあることなどを明記している。

(単位：人・各年5月1日現在)

幼稚園名	定員	H30	R 1	R 2	R 3（12月1日時点の見込値）			
					計	3歳児	4歳児	5歳児
江名	80	25	24	26	23	6	11	6
湯本第一	80	43	44	24	13	2	0	11
湯本第三	80	23	25	20	9	0	3	6
宮	80	32	32	27	18	4	7	7
四倉第二	80	27	36	29	30	5	5	20

3 今後の対応について

公立幼稚園の児童数は、少子化や幼児教育・保育の無償化の影響などにより、減少傾向にある。

このため、再編対象園を希望された保護者に対し、今回の入園児募集の結果を踏まえた実情を説明するなどの対応を行っている。

また、再編の実施に当たっては、在園児の状況を考慮した上で、保護者や地域の方々等に丁寧に説明を行い、理解を得ながら適切に対応する。